

平成21事業年度

決算報告書

自 平成21年 4月 1日

至 平成22年 3月31日

国立大学法人北海道大学

平成 21 年 度 決 算 報 告 書

国立大学法人 北 海 道 大 学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	39,295	39,295	-	
施設整備費補助金	3,570	4,888	1,318	(注1)
補助金等収入	2,218	5,809	3,590	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	113	113	-	
自己収入	32,611	34,181	1,570	
授業料及び入学金及び検定料収入	10,366	10,255	△111	(注3)
附属病院収入	21,616	22,876	1,260	(注4)
財産処分収入	-	0	0	
雑収入	629	1,049	420	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	11,483	11,544	61	(注6)
引当金取崩	-	357	357	(注7)
承継剰余金	133	-	△133	(注8)
目的積立金取崩	5,895	4,520	△1,374	(注9)
計	95,320	100,711	5,390	
支出				
業務費	63,947	65,374	1,427	(注10)
教育研究経費	44,011	42,456	△1,555	
診療経費	19,935	22,917	2,982	
一般管理費	10,665	9,664	△1,000	(注11)
施設整備費	3,683	5,001	1,318	(注12)
補助金等	2,218	5,674	3,456	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	11,483	10,468	△1,014	(注14)
長期借入金償還金	3,322	3,322	0	
計	95,320	99,506	4,186	
収入－支出	-	1,204	1,204	

(注) 「産学連携等研究収入及び寄附金収入等」には、前年度以前からの繰越分625百万円が含まれております。

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった補助金が増額となったため、予算額に比して決算額が1,318百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった補助金(科学技術総合推進費補助金、設備整備費補助金)の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が3,590百万円多額となっております。
- (注3) 授業料及び入学料及び検定料収入については、主に授業料収入が減少したため、予算額に比して決算額が111百万円少額となっております。
- (注4) 附属病院収入については、看護体制の充実等により、予算額に比して決算額が1,260百万円多額となっております。
- (注5) 雑収入については、主に資産運用収入、家畜治療収入、著作権及び特許権収入等の増収に努めたため、予算額に比して決算額が420百万円多額となっております。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算段階では予定していなかった国(の各組織、特殊法人)及び民間からの受託研究等の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が61百万円多額となっております。
- (注7) 引当金取崩については、引当金による退職手当及び賞与の支払いに伴い、経費相当分を取り崩したことにより、予算額に比して決算額が357百万円多額となっております。
- (注8) 承継剰余金については、支出実績がなかったため、予算額に比して決算額が133百万円少額となっております。
- (注9) 目的積立金取崩については、一部事業が翌年度に繰越となったため、予算額に比して決算額が1,374百万円少額となっております。
- (注10) 業務費については、病院収入の増収にかかる医療材料費等の増加及び全学支援による診療設備の整備に伴い、予算額に比して決算額が1,427百万円多額となっております。
- (注11) 一般管理費については、一部事業が翌年度に繰越となったため、予算額に比して決算額が1,000百万円少額となっております。
- (注12) (注1)に示した理由により、予算額に比して決算額が1,318百万円多額となっております。
- (注13) (注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が3,456百万円多額となっております。
- (注14) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、寄附金収入の繰越額の増に伴い、予算額に比して決算額が1,014百万円少額となっております。